

2023年3月期 第3四半期決算短信〔日本基準〕(連結)

2023年2月8日

上場会社名 ジャニス工業株式会社 上場取引所 名
 コード番号 5342 URL <https://www.janis-kogyo.co.jp>
 代表者 (役職名) 代表取締役社長 (氏名) 富本 和伸
 問合せ先責任者 (役職名) 経営管理室長 (氏名) 都築 佳男 (TEL) 0569-35-3150
 四半期報告書提出予定日 2023年2月10日 配当支払開始予定日 —
 四半期決算補足説明資料作成の有無 : 無
 四半期決算説明会開催の有無 : 無

(百万円未満切捨て)

1. 2023年3月期第3四半期の連結業績(2022年4月1日~2022年12月31日)

(1) 連結経営成績(累計)

(%表示は、対前年同四半期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		親会社株主に帰属する四半期純利益	
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%
2023年3月期第3四半期	3,451	△1.3	△99	—	△58	—	△62	—
2022年3月期第3四半期	3,495	7.0	19	—	58	—	47	—

(注) 包括利益 2023年3月期第3四半期 △44百万円(—%) 2022年3月期第3四半期 26百万円(—%)

	1株当たり 四半期純利益	潜在株式調整後 1株当たり 四半期純利益
	円 銭	円 銭
2023年3月期第3四半期	△16.93	—
2022年3月期第3四半期	12.78	12.71

(注) 2023年3月期第3四半期の潜在株式調整後1株当たり四半期純利益については、潜在株式は存在するものの、1株当たり四半期純損失であるため、記載しておりません。

(2) 連結財政状態

	総資産	純資産	自己資本比率
	百万円	百万円	%
2023年3月期第3四半期	5,248	2,189	41.5
2022年3月期	5,210	2,231	42.6

(参考) 自己資本 2023年3月期第3四半期 2,177百万円 2022年3月期 2,218百万円

2. 配当の状況

	年間配当金				
	第1四半期末	第2四半期末	第3四半期末	期末	合計
	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭
2022年3月期	—	—	—	0.00	0.00
2023年3月期	—	—	—	—	—
2023年3月期(予想)	—	—	—	0.00	0.00

(注) 直近に公表されている配当予想からの修正の有無 : 無

3. 2023年3月期の連結業績予想(2022年4月1日~2023年3月31日)

(%表示は、対前期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		親会社株主に帰属する当期純利益		1株当たり 当期純利益
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%	円 銭
通期	4,950	1.8	0	△100.0	40	△54.2	30	—	8.13

(注) 直近に公表されている業績予想からの修正の有無 : 無

※ 注記事項

(1) 当四半期連結累計期間における重要な子会社の異動 : 無
(連結範囲の変更を伴う特定子会社の異動)

新規 —社(社名)— 、除外 —社(社名)—

(2) 四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用 : 有

(注)詳細は、添付資料P.7「2. 四半期連結財務諸表及び主な注記(3) 四半期連結財務諸表に関する注記事項(四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用)」をご覧ください。

(3) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示

① 会計基準等の改正に伴う会計方針の変更 : 無

② ①以外の会計方針の変更 : 無

③ 会計上の見積りの変更 : 無

④ 修正再表示 : 無

(4) 発行済株式数(普通株式)

① 期末発行済株式数(自己株式を含む)	2023年3月期3Q	3,833,543株	2022年3月期	3,833,543株
② 期末自己株式数	2023年3月期3Q	137,413株	2022年3月期	143,941株
③ 期中平均株式数(四半期累計)	2023年3月期3Q	3,692,859株	2022年3月期3Q	3,686,302株

(注)期末自己株式数及び期中平均株式数の算定上控除する自己株式数には、株式会社日本カストディ銀行(信託E口)が保有する当社株式98,600株を含めております。

※ 四半期決算短信は公認会計士又は監査法人の四半期レビューの対象外です

※ 業績予想の適切な利用に関する説明、その他特記事項

(将来に関する記述等についてのご注意)

・本資料に記載されている業績見通し等の将来に関する記述は、当社が現在入手している情報及び合理的であると判断する一定の前提に基づいており、実際の業績等は様々な要因により大きく異なる可能性があります。業績予想の前提となる条件及び業績予想のご利用にあたっての注意事項等については、添付資料P.2「1. 当四半期決算に関する定性的情報(3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明」をご覧ください。

○添付資料の目次

1. 当四半期決算に関する定性的情報	2
(1) 経営成績に関する説明	2
(2) 財政状態に関する説明	2
(3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明	2
2. 四半期連結財務諸表及び主な注記	3
(1) 四半期連結貸借対照表	3
(2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書	5
(3) 四半期連結財務諸表に関する注記事項	7
(継続企業の前提に関する注記)	7
(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記)	7
(四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用)	7
(セグメント情報等)	7

1. 当四半期決算に関する定性的情報

(1) 経営成績に関する説明

当第3四半期連結累計期間におけるわが国の経済は、円安・エネルギー価格高騰に伴う物価、燃料費調整額、電力・ガス契約単価等が上昇し大変厳しい状況にあり、金融緩和縮小による貸出金利増加、物価上昇による実質所得低下の下押し圧力、賃上げ対応など先行きが非常に不透明な状況にあります。また、世界経済におきましては、中国のゼロコロナ対策緩和による感染拡大、世界各地での金融引き締め政策、ウクライナ侵攻長期化、地金単価の高止まり、ロシア産の天然資源価格上限設定に伴うエネルギー調達難など下振れリスクが多いと予想されます。

当社関連業界につきましては、新設住宅着工指数は前年と比較すると、やや緩やかな減少傾向にあります。海外産の木材から国産の木材に切り替える傾向がある中で、木材の需給は落ち着きつつあり、新住宅ローン減税制度が継続されておりますが、住宅ローン固定金利10年物の上昇、建材・建具・設備だけでなく人手不足による人件費が上昇しております。また、米国と中国の不動産市場が悪化していることもあり、当面の間は低水準での推移が続くと予想されます。

このような状況の中で、コロナ商材に対応した商品に続き、ボタン操作がし易い・脱臭機能が付いた温水洗浄便座(サワレット320)や、ファミリー層向けの洗面器(スクエアラインミディ)を販売してまいりましたが、売上高につきましては、前年同期比で1.3%減少しました。生産部門では、環境改善・労務費削減のための投資や多能工対策、現場作業効率改善の仕組みやLED照明への投資を実施し、人手不足・残業抑制の中でも収益を上げるべく、製造原価低減に努めてまいりましたが、原材料費・エネルギー価格高騰分を吸収することが出来ませんでした。

その結果、当第3四半期連結累計期間の売上高は3,451百万円(前年同期比44百万円減少)、営業損失は99百万円(前年同期は営業利益19百万円)、経常損失は58百万円(前年同期は経常利益58百万円)、親会社株主に帰属する四半期純損失は62百万円(前年同期は親会社株主に帰属する四半期純利益47百万円)となりました。

利益確保の課題に向け、営業面におきましては、10月の価格改定に続き、新規市場開拓や福祉・介護等の非住宅市場を開拓してまいります。また、海外渡航の緩和もあり、海外販売を再開してまいります。生産面におきましては、歩留改善・生産性アップ、調達品の見直しや部品の内製化を進め、製造原価低減をし、利益を出せる生産体制を強化してまいります。

なお、当社は衛生機器の製造・販売の単一セグメントであります。

(2) 財政状態に関する説明

(資産)

流動資産は、前連結会計年度末に比べて、40百万円減少し2,613百万円となりました。主な内訳は、電子記録債権の減少131百万円、受取手形及び売掛金の減少101百万円、現金及び預金の減少93百万円と製品の増加259百万円によるものです。

固定資産は、前連結会計年度末に比べて、78百万円増加し2,634百万円となりました。主な内訳は、有形固定資産の増加44百万円と投資有価証券の増加27百万円によるものです。

この結果、総資産は前連結会計年度末に比べて37百万円増加し、5,248百万円となりました。

(負債)

流動負債は、前連結会計年度末に比べて、73百万円減少し1,874百万円となりました。主な内訳は、支払手形及び買掛金の減少103百万円、賞与引当金の減少38百万円、製品保証引当金の減少36百万円と1年内返済予定の長期借入金の増加52百万円、短期借入金の増加50百万円によるものです。

固定負債は、前連結会計年度末に比べて、152百万円増加し1,184百万円となりました。主に長期借入金の増加141百万円によるものです。

この結果、負債合計は前連結会計年度末に比べて79百万円増加し、3,058百万円となりました。

(純資産)

純資産は、前連結会計年度末に比べて、41百万円減少し2,189百万円となりました。主な内訳は、利益剰余金の減少62百万円とその他の有価証券評価差額金の増加21百万円であり、自己資本比率は41.5%となりました。

(3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明

連結業績予想につきましては、2022年11月9日発表の通期の業績予想に変更ありません。

2. 四半期連結財務諸表及び主な注記

(1) 四半期連結貸借対照表

(単位：千円)

	前連結会計年度 (2022年3月31日)	当第3四半期連結会計期間 (2022年12月31日)
資産の部		
流動資産		
現金及び預金	310,249	217,176
受取手形及び売掛金	719,669	617,948
電子記録債権	771,846	640,604
製品	504,253	763,261
仕掛品	194,884	171,171
原材料及び貯蔵品	130,931	176,473
前渡金	23	1,353
前払費用	12,267	16,006
その他	10,330	9,632
流動資産合計	2,654,457	2,613,629
固定資産		
有形固定資産		
建物(純額)	364,112	360,560
構築物(純額)	13,239	11,853
機械及び装置(純額)	239,861	259,586
車両運搬具(純額)	7	99
工具、器具及び備品(純額)	23,716	27,878
土地	1,438,350	1,438,350
リース資産(純額)	—	16,443
建設仮勘定	17,063	26,398
有形固定資産合計	2,096,351	2,141,170
無形固定資産		
ソフトウェア	8,100	6,750
無形固定資産合計	8,100	6,750
投資その他の資産		
投資有価証券	226,587	254,257
出資金	141	141
長期貸付金	11,800	10,900
長期前払費用	5,472	18,353
差入保証金	16,088	15,323
投資不動産(純額)	172,645	172,991
繰延税金資産	24,974	20,030
長期未収入金	235,999	235,999
その他	8,100	8,100
貸倒引当金	△250,299	△249,399
投資その他の資産合計	451,509	486,697
固定資産合計	2,555,961	2,634,617
資産合計	5,210,419	5,248,247

(単位：千円)

	前連結会計年度 (2022年3月31日)	当第3四半期連結会計期間 (2022年12月31日)
負債の部		
流動負債		
支払手形及び買掛金	495,170	392,067
電子記録債務	295,862	322,188
短期借入金	750,000	800,000
1年内返済予定の長期借入金	40,040	92,276
リース債務	—	2,494
未払金	48,068	54,642
未払費用	51,350	54,419
未払法人税等	16,575	5,455
未払消費税等	23,433	22,995
前受金	4,136	4,136
預り金	10,227	21,164
設備関係支払手形	8,592	3,885
設備関係電子記録債務	51,889	17,710
賞与引当金	53,811	14,956
製品保証引当金	97,990	61,386
その他	383	4,568
流動負債合計	1,947,530	1,874,348
固定負債		
長期借入金	154,880	296,868
リース債務	—	15,800
再評価に係る繰延税金負債	338,978	338,978
退職給付に係る負債	411,454	405,076
資産除去債務	12,486	12,698
長期未払金	1,289	1,289
長期預り保証金	112,400	113,381
固定負債合計	1,031,490	1,184,094
負債合計	2,979,021	3,058,442
純資産の部		
株主資本		
資本金	1,000,000	1,000,000
資本剰余金	183,663	182,342
利益剰余金	268,723	206,222
自己株式	△111,749	△107,387
株主資本合計	1,340,637	1,281,177
その他の包括利益累計額		
その他有価証券評価差額金	53,820	75,000
土地再評価差額金	781,287	781,287
退職給付に係る調整累計額	43,178	39,865
その他の包括利益累計額合計	878,286	896,153
新株予約権	12,474	12,474
純資産合計	2,231,398	2,189,804
負債純資産合計	5,210,419	5,248,247

(2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書

四半期連結損益計算書

第3四半期連結累計期間

(単位：千円)

	前第3四半期連結累計期間 (自2021年4月1日 至2021年12月31日)	当第3四半期連結累計期間 (自2022年4月1日 至2022年12月31日)
売上高	3,495,918	3,451,068
売上原価	2,720,530	2,814,357
売上総利益	775,388	636,710
販売費及び一般管理費	755,834	736,478
営業利益又は営業損失(△)	19,553	△99,767
営業外収益		
受取利息	197	190
受取配当金	5,715	7,124
受取賃貸料	36,258	36,678
その他	5,666	7,305
営業外収益合計	47,838	51,298
営業外費用		
支払利息	1,544	1,920
賃貸費用	3,667	3,575
支払手数料	2,196	2,547
その他	1,249	1,673
営業外費用合計	8,657	9,715
経常利益又は経常損失(△)	58,734	△58,184
特別利益		
固定資産売却益	1,471	1,190
特別利益合計	1,471	1,190
特別損失		
固定資産除売却損	6,485	0
特別損失合計	6,485	0
税金等調整前四半期純利益又は税金等調整前四半期純損失(△)	53,719	△56,994
法人税、住民税及び事業税	6,851	5,563
法人税等調整額	△253	△55
法人税等合計	6,598	5,507
四半期純利益又は四半期純損失(△)	47,121	△62,501
親会社株主に帰属する四半期純利益又は親会社株主に帰属する四半期純損失(△)	47,121	△62,501

四半期連結包括利益計算書

第3四半期連結累計期間

(単位：千円)

	前第3四半期連結累計期間 (自 2021年4月1日 至 2021年12月31日)	当第3四半期連結累計期間 (自 2022年4月1日 至 2022年12月31日)
四半期純利益又は四半期純損失(△)	47,121	△62,501
その他の包括利益		
その他有価証券評価差額金	△17,722	21,179
退職給付に係る調整額	△2,884	△3,312
その他の包括利益合計	△20,607	17,866
四半期包括利益	26,514	△44,634
(内訳)		
親会社株主に係る四半期包括利益	26,514	△44,634

(3) 四半期連結財務諸表に関する注記事項

(継続企業の前提に関する注記)

該当事項はありません。

(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記)

該当事項はありません。

(四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用)

法人税等の算定方法

当連結会計年度の税引前当期純利益に対する税効果会計適用後の実効税率を合理的に見積り、税引前四半期純利益に当該見積実効税率を乗じて計算しております。

(セグメント情報等)

当社の事業は、衛生機器の製造・販売の単一セグメントであり、開示対象となるセグメントはありませんので、記載を省略しております。